

【別紙様式 3】

再評価実施事業調査書

番号	1	事業名	国道道路改築		路線又は箇所名等		一般国道 126 号 山武東総道路二期		
事業所管課		道路整備課		事業主体		千葉県			
事業化年度	平成 16 年度	用地着手年度	平成 19 年度	工事着手年度 工事終了(認可)年度	平成 24 年度 平成 35 年度	再評価の理由	再々評価		
費用便益比 B/C	1.4 (2.0)	総費用	90 億円 (61 億円)	総便益	123 億円 (123 億円)	基準年	平成 28 年度	供用開始 年度	平成 36 年度

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

【事業概要】

地域高規格道路「銚子連絡道路」は、千葉県銚子市と千葉県山武市を連結し、山武・東総地域の道路ネットワークの骨格となり、首都圏中央連絡自動車道等の高規格幹線道路と一体となって機能し、地域間相互の連携・交流の促進、一般国道 126 号の交通混雑の緩和、安全性の向上、物流の効率化、救急医療への支援など当該地域の活性化や県民生活の利便性の向上に資する道路である。

一般国道 126 号山武東総道路二期は、銚子連絡道路の一部を構成する横芝光町から匝瑳市までの延長約 5.0km の区間であり、当該地域における交通混雑の緩和と沿道環境の改善などを図るために整備を進めている 2 車線のバイパス事業である。

【事業の進捗状況】(H28 年度末見込み)

	全体計画	投資事業費	残事業費	進捗率
事業費(億円)	100.6	28.5	72.0	28.3%
うち用地補償費	19.8	7.9	11.9	39.9%
うち工事費	80.8	20.7	60.1	25.6%

※四捨五入の関係で合計が一致しない箇所がある。

【社会経済情勢等】

地域高規格道路「銚子連絡道路」は、山武・東総地域の発展に寄与する道路として、関係 6 市 3 町で構成する山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会や県議会などにおいても早期整備の要望を受けている。

現道の国道 126 号は慢性的な交通混雑が発生し、死傷事故率が高い区間もあり、渋滞が発生要因の一つである追突事故の発生割合が高い。

山武東総道路一期区間(松尾横芝 IC~横芝光 IC: 約 6.1km)については、平成 18 年 3 月に供用済であり、整備中区間の開通により、更なる整備効果の拡大が期待される。

用地取得にあたり、地権者の理解と協力を得るのに時間を要しており、事業期間が長期化しているが、地元市の協力を得ながら用地交渉を進めている。

これまでに、道路規格や交差点形状等の見直しによりコスト縮減を図ったところであり、引続きコスト縮減に努めるとともに、早期開通を目指して、残る用地の取得を進め、用地の取得済箇所から、順次、本工事を実施している。

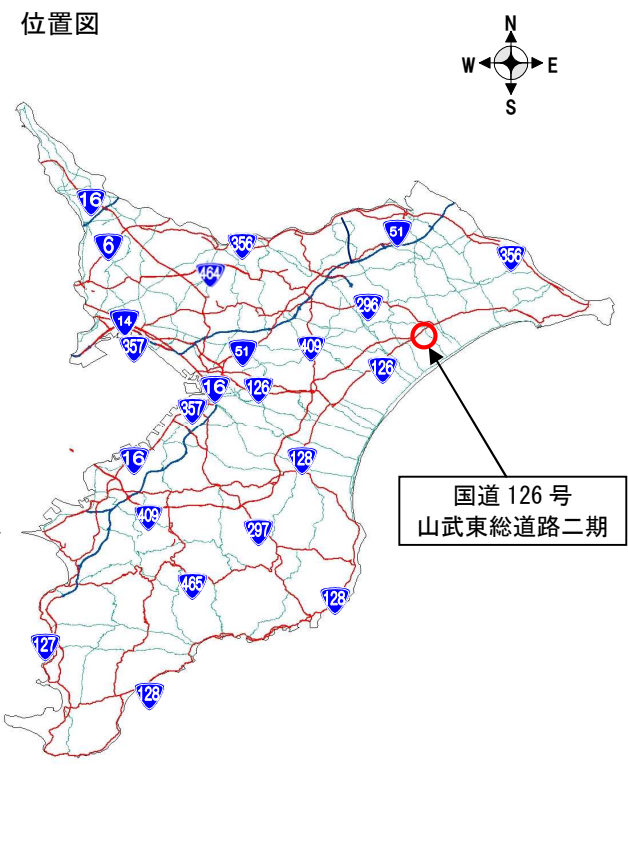
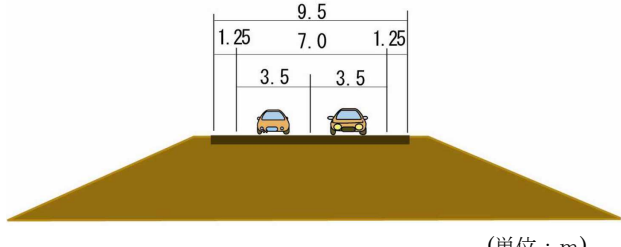
【対応方針(案)】

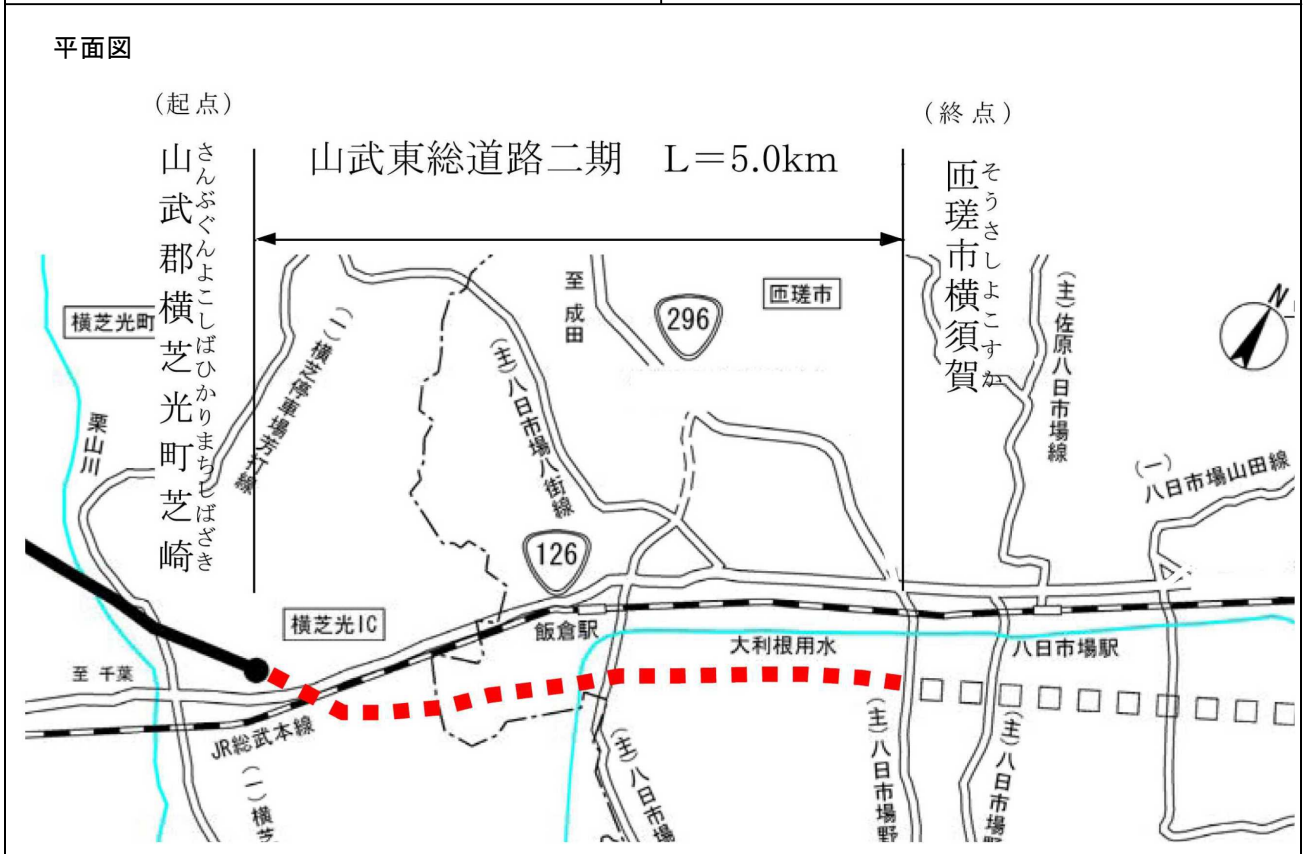
国道 126 号山武東総道路二期は、地域高規格道路として、首都圏中央連絡自動車道等の整備効果を広く山武・東総地域に波及させる道路として不可欠であり、地域の期待が高い道路である。

交通の円滑化、安全性の向上、物流の効率化、救急医療への支援などの整備効果が期待され、また、全体事業の費用便益(B/C)が 1.4(残事業 2.0)となり、事業の投資効果が見込まれることから事業を継続し、効果の早期発現を目指すこととしたい。

【別紙様式 4】

事業概要図

番号	1	事業名	国道道路改築	路線又は箇所名等	一般国道126号 山武東総道路二期
<p>位置図</p>  <p>国道126号 山武東総道路二期</p>	<p>標準横断面図</p>  <p>(単位：m)</p>				



【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番 号	1	事 業 名	国道道路改築	路線又は箇所名等	一般国道126号 山武東総道路二期
事業化年度	平成16年度	用地着手年度	平成19年度	工事着手年度	平成24年度
【再評価の概要】					
再評価実施年度 (基準年)	平成23年度	供用開始年度	平成31年度	対応方針	継続
B/C	1.8	総費用	39億円	総便益	70億円
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 継続することが妥当である。					
再評価時の進捗状況及び再評価時想定の5年後の進捗状況					
	計 画	進捗状況(H23)	5年後の想定進捗状況		
全体事業費	44.1億円	4.9億円(11%)	32.2億円(73%)		
用地取得面積	123,600㎡	11,782㎡(10%)	123,600㎡(100%)		
供用面積(延長)	5.0km	—	—		
【再々評価の概要】					
再評価実施年度 (基準年)	平成28年度	供用開始年度	平成36年度	対応方針	継続
B/C	1.4	総費用	90億円	総便益	123億円
現在の進捗状況					
	計 画	進捗状況 (H28末見込み)			
全体事業費	100.6億円	28.8億円(29%)			
用地取得面積	218,972㎡	115,214㎡(53%)			
供用面積(延長)	5.0km	—			
再評価後の経過及び処理状況	用地進捗率(平成28年度末見込み)は約53%となっており、平成24年度から用地の取得済箇所から函渠工等の本工事に着手している。 早期供用を図るため、残る用地の取得に努め、事業推進を図ることとする。				